

はじめまして。しま&いっちーです。今回は、新しいお薬ができるまでのことを皆さんにお話したいと思います。

治験ってなに？

国からお薬として認めてもらうために行う試験を治験といいます。治験では、新しいお薬の候補を人に飲んでもらい、効き目があるか、安全かどうか確認します。

新薬ができるまで

研究室で新しい薬になりそうな、「おくすりの種」を発見します。

「おくすりの種」に効き目があるか、安全かどうか、ネズミやウサギ、イヌなどでためてみます。普通、3〜5年をかけて繰り返し確認します。

動物で効き目と安全なことが確認されたものだけが「新しい薬の候補」となり、人による試験に入ります。これが「治験」です。

治験を繰り返し、効き目と安全なことが確認されたものだけが

厚生労働省に認められて、病気で苦しむ人を助ける新薬が誕生します。

次回は治験に関わる疑問に迫ります

新薬ができるまでの数字いろいろ

おくすりの開発成功率 12,888分の1
おくすりの研究開発期間 9年〜17年
1つ成功するまでにかかる費用 約500億円



全国どこの方箋も受付
致します。“安心・安楽・迅速”
がモットーの“なかよし薬局”です
船子店:046-220-6868
高森店:0463-90-2311
愛川店:046-284-2227
関口店:046-244-1011